

習志野市教育委員会会議録  
 (平成17年第5回定例会)

- 1 期 日 平成17年5月18日(水)  
 習志野市教育委員会事務局大会議室  
 開会時刻 午後3時00分  
 閉会時刻 午後4時10分
- 2 出席委員 委員長 青 木 克 己  
 委 員 吉 村 博 与  
 委 員 栗 原 伸 夫  
 委 員 小 泉 俊 雄  
 委 員 松 盛 弘
- 3 出席職員 副教育長 西 原 民 義  
 教育総務部長 小 滝 益 夫  
 学校教育部長 由 比 ヶ 濱 勤  
 生涯学習部長 小 林 伸 二  
 学校教育部参事 大 和 田 泰 雄  
 学校教育部参事 渡 辺 伸 治  
 教育総務部次長 志 村 豊  
 学校教育部次長 柴 田 史 香  
 生涯学習部次長 高 山 幸 男  
 学校教育部副参事 山 崎 敏 雄  
 学校教育部副参事 鶴 岡 智  
 生涯学習部副参事 奥 平 純 一  
 学校教育課長 大 友 秀 雄  
 指導課長 倉 光 正 力  
 青少年課長 吉 田 信 博  
 青少年センター所長 小 柳 茂  
 教育総務部・学校教育部主幹 野 中 良 範  
 学校教育部主幹 鈴 木 博  
 生涯学習部主幹 高 柳 英 昭  
 生涯学習部主幹 及 川 隆 志

#### 4 会議内容

委員長が

平成17年習志野市教育委員会第5回定例会の開会を宣言。

委員長が

会議規則第15条の規定により、議案第22号及び議案第23号を非公開とすることについて諮り、全員異議なく非公開と決定された。

委員長が

本日の日程について、議案第22号及び議案第23号を協議事項の後に審議することについて諮り、全員異議なく提案どおり決定された。

委員長が

平成17年第4回定例会の会議録について承認を求め、全員異議なく承認された。

報告事項(1) 平成17年度育英資金給与者の決定について

(学校教育課)

学校教育課長が

平成17年5月10日に育英資金選考委員会を開催し、平成17年度の育英資金給与者を決定した。高校生は50人が申請し、決定者は45人、大学生は25人が申請し、決定者は10人である。給与月額1人当たり、高校生9,000円、大学生は11,000円で、今年度の合計は618万円となっている、と説明。

委員が

不決定の理由の主なものは何か、と質問。

学校教育課長が

作文、服装、成績などで総合的に点数を付け、後は個別に事情がある家庭かどうかを含め検討し、その上位者を決定者としている、と回答。

委員が

今年度の選考委員会での傾向は何かあるか、と質問。

学校教育課長が

近年、母子家庭世帯の申請が多い傾向にある、と回答。

委員が

いわゆる給与収入者以外の収入の算定はどのようにしているのか、と質問。

学校教育課長が

両親の労働状況や兄弟の人数等を調査し、総合的な把握に努めている。決定者の収入はかなり少なく、ほとんどが要保護、準要保護世帯となっている、と回答。

委員長が他に質疑なしと認め、報告事項（１）は了承された。

報告事項（２） 習志野市学校評議員の委嘱について

（指導課）

指導課長が

習志野市学校評議員について、秋津小学校を除く小学校１５校、中学校７校全校、高等学校１校の計２３校において委嘱した。秋津小学校については学校評議員を委嘱していないが、文部科学省のコミュニティスクール推進事業の指定を受け、保護者や地域住民等からコミュニティスクール推進員を委嘱し、学校運営に参画する事を通じて、地域に開かれた学校づくりを行う予定であり、学校評議員制度の趣旨をカバーするものである。なお、学校評議員制度が２年目の学校においては、再任されている方が多い傾向にある、と説明。

委員が

学校評議員制度を昨年度から実施して良かった点や課題点は何か、と質問。

指導課長が

地域の方が学校に興味をもって参加し、学校をよく理解してもらえるようになっている。また、建設的な意見も多くあり、それらを取り入れて、学校運営に取り組んでいる、と回答。

委員が

制度の趣旨から、幅広く、かつ、バランスよい人選が求められると思うが、現役・OBのPTAや元校長が多いように思われる。委員の選出はどのようにしたのか、と質問。

指導課長が

習志野市学校評議員に関する要綱第3条及び第4条に基づき、各学校長が地域や学校の実情や特色に応じ、保護者や住民等幅広い分野から推薦し、教育長が決定している、と回答。

委員が

幅広く人材を登用するという観点で、バランスのとれていない学校があるのではないかと質問。

指導課長が

たしかにPTA経験者が多いが、元PTAという肩書きだけでなく、他の面でも活躍している方である、と回答。

委員が

PTA等の学校関係者だけでは馴れ合いになってしまうことを懸念している、と発言。

委員が

学校評議員は色々な面で重要なので、どのような人が委嘱されているのかをもう少し調べてもらいたい、と発言。

委員が

始まったばかりの制度なので、これからメンバーも幅広くなっていくのではないかと。人選は大切であり、地域の人たちの声を大切にしながら、学校の主体性も大事にして、幅広く、学校を育てるという観点で選出してもらいたい、と発言。

委員が

今後、職業、備考欄の記載については、内容が理解できるような表記をお願いしたい、と発言。

委員長が他に質疑なしと認め、報告事項(2)は了承された。

協議第1号 次回教育委員会の期日について協議し、平成17年6月22日(水)午後3時に決定された。

<議案第22号及び議案第23号は非公開>

議案第 2 2 号 習志野市公民館運営審議会委員の委嘱について

(社会教育課)

生涯学習部副参事が、委嘱について説明。

質疑の後、採決の結果、議案第 2 2 号は原案どおり可決された。

議案第 2 3 号 平成 1 7 年度教科用図書葛南東部採択地区協議会規約の承認について (指導課)

指導課長が、規約の概要を説明。

質疑の後、採決の結果、議案第 2 3 号は原案どおり可決された。